

神戸の味覚

楠本 憲
吉△俳人▽
え・南 和好

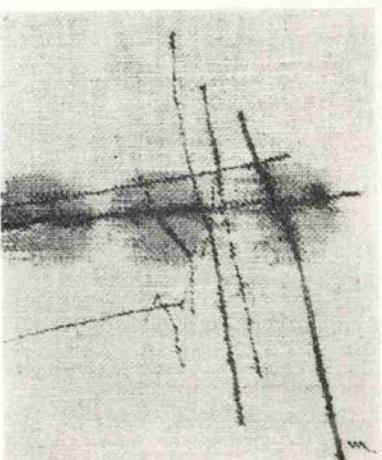
神戸は、私の十代を過ごした懐しい町である。

トア・ロード……六甲山麓から市電山手線を越え、高架のガードを過ぎて大丸前にいたる南北の坂道——。教会、オフィス、住宅もところどころに見られる大人の町、優雅な商店街といつていいだろう。

オランダの木靴の並んだシャレタアクセサリーの店や、婦人帽子専門店や、ユダヤ人の宝石店や、中国服の専門店があつて、ショッピングの通りというよりは、お天気のいい日や、さわやかな夕方に散策を楽しみ、ついでに買い物をしてゆくという町である。

「デリカテッセン」はこの通りのほぼ中央にある、いかにも神戸らしい高級食料品店だ。ご主人

は高橋明暢さん。神道に深く帰依した秋田出身のご婦人である。



店一ぱい、ソーセージ、ハム、チーズ、パテなどが置かれている。食いしん坊の人にとって、それらは、まるで宝石箱を覆えしたように目に映るに違いない。心憎いことに、店の奥に小さいスタンドがありサンドイッチを食べさせてくれる。勿論香り高いコーヒーも。お手のもののハムやサケの燻製、サワーピツクルス、ローストビーフ、レバーパテなどのサンドイッチがカゴ皿に盛つてされる。

勿論、この店の代表食品は、スマーケサーモンである。その姿を崩さぬ柔らかさ、舌にのせた時のうまみはこの店の製品を置いてほかでは見られない。

元町の「青辰」は、兵庫港開港以前からの古いたべもの屋で、あなごすしの専門店。しかも営業時間は十時から十三時、時には開店して一、二時

間で材料切れといふことも珍しくない。上々のあなたこの一本選りで買つけるのだから仕込みに限度があるわけ。あなごすしというのは、あなごと椎たけときくらげののり巻のこと。ちらしもあつて、この店自慢の卵の錦糸がふりかけられる。あなたのキモのお通し、焼あなごも作ってくれる。

神戸から少うし足をのばし、明石市の神戸寄り入り口、大蔵八幡町のブッキングハウスのハム、ベーコン、ソーセージはばつぐんにうまい。カナディアンベイコン（豚のチャップ肉を燻したもの）、二杯酢で食べるといいらしいといわれるヘッドチーズ、タンソーセージ、豚の生血を主原料にして、それにタンのかたまりの入ったラツドソーセージ、燻製後長期間自然乾燥したボイルサラミなど、まさにこの工場独特の製品ばかりである。

神戸牛という言葉があるように神戸と牛肉との関係は切っても切れないが、神戸牛といわれるもの多くは、兵庫県下の但馬の牛という。但馬といふところは、寒冷地で、野草が豊富、養牛には適した地形を持っている。ここで産する、いわゆる但馬牛の、脂肪がキメ細かにもみ込まれた、彈力のある、鹿の子ロースは絶品である。

すき焼は生田区中山手通りの「山三つ輪」のそれを愛する。しっかりと普請の落ち着いた店である。新世紀の向いの「みその」は鉄板焼ステーキの元祖だが、鉄板焼のいい店が沢山殖えた昨今、往年の魅力はなくなつた。

南京街の入口にある「老祥記」のブタマンジュウは相変わらずまい。

洋食では北野町の坂をあがつた高台にある「コラルキタノ」がいい。神戸肉を材料にしたキタノ

・ステーキ、仔牛のシェリー酒煮などのリッチな味を楽しみながら、百万ドルの夜景を眺める心地はいつ行つてもいいものだ。

兵庫区戸塚町にある「かいや」のまほこは日本一である。材料はハモ一本。やきぬきというかまほこは恰幅のある堂々たるもので、まさに一品料理として通用する風格を備えている。

さて、秋の夜長を一杯かたむけようかといふことになると、私が必ず寄る店が一軒ある。三の宮東門筋にある「スライス」。この店は、この道二十数年の老夫婦二人が静かにやっているスタンダードバーで、通にはよく知られている店である。ここでは東京でもめつたにお目にかかるねうイスキー、ブランデーが目白押ししに並んでいて、飲ん兵衛の目の色を変えさせる。アーサー・キャンドラーというブランデーや、ブキャナンズというウイスキーは、私がこの店で初めて口にしたもののだ。

神戸の味覚の話をしていてはキリがない。うまいものの条件に、食べる人の心を安定させるというのがある。そうだが、神戸で食べる食べ物の味は、まさに私の心を安定させてくれるからであろう。つまりはこれがふるさと料理の醍醐味というものであろう。

△佛人△



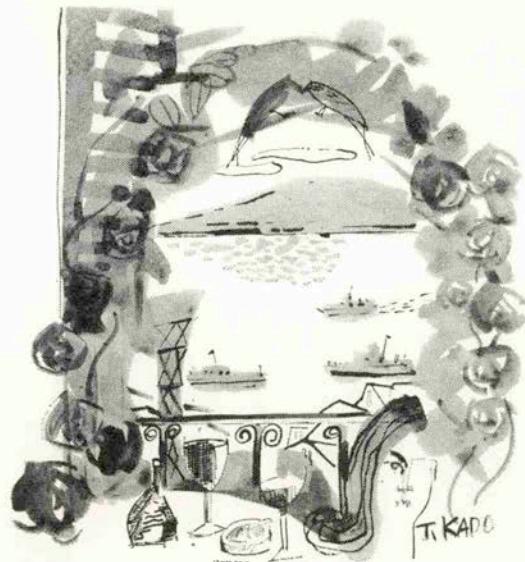
筆者

京都・淡路

神戸

奈良本辰也

え・角
卓



学生時代に京都に出てきて、そのまま住みついてしまつたのだから、私の京都住いもずいぶん長したことになる。その間に京都市史の編纂などに携つたこともあるので、京都のこともいろいろと勉強した。古い歴史のこと、新しい出来事はいうに及ばず、夜の巷を彷徨して彼方此方とずいぶん呑み廻つた。京都の多少とも名の通つた料理屋で私の足が入つてないところはないくらいである。

京都の料理というのは、いかにも伝統を感じさせるものだ。器から一寸した肴の盛りつけ方など、実に心がゆきとどいている。これは、なげなしの材料を如何にうまく食べさせるかということを考え抜いてきた知慧のようなものである。

京都のことを書き出すと、すぐ食べることとか呑むこととかになってしまふが、社寺を除けば、これが一ぱん京都らしいので仕方がない。京女、などというのは、要するに田舎者の憧れが幻を画いただけであつて、言うほどの人にお目にかかることはない。依田義賢氏と話したことだが、「要するに、それは居らんということどすな」という

ことで意見が一致した。

とにかく、長い京都であつたが、しかし私は京都人にだけはなりたくないと思っている。あくまで、ここでは異邦人として住みたい。東京から赴任してきた私の知人は、一年ばかり京都に居をかまえていたが、「こんなところにはとても住めぬ」といつて、大学まで辞めて帰ってしまった。

この三方を山で包まれた小さな盆地に何百年も住んでいると、妙に人間が小さくなつて意地の悪い人物がうようよと出てくるような気がする。古くは木曾義仲のような立派な人物も、京都に入つたばかりに悪人にされてしまった。頼朝はさすがに、ここに幕府はおかなかつた。京都に幕府など置いていたら、頼朝なども完全に悪党にされてしまう。

京都には海がないことも、私の不満の一つである。これは、私が瀬戸内海の島に生れて毎日海を眺めて育つたためであろうか。海のないところはどうも夢がないような気がする。私は、京都を放れるところまではゆかなかつたが、その海を求めて淡路島に山庄、いや海荘といった方がよいかなそれをつくった。小高い丘の中腹で、ここからは播磨灘が一望のもとにおさめられる。夕陽が素晴しくきれいだ。色紙を頼まれて、

島むらさき、海金色に照り映えぬ

こゝなる浦の 入陽うるわし

と詠んだものだ。そうしたら、この町で何十年も住んだという老医師が「いや、あなたに言われて初めて夕陽の美しさを知りました。これほどの美しさは、どこにもありませんなあ」といつて喜んでくれた。それに、この辺りは魚がうまいのであ

る。この魚の美味さは、ちょっと類がないほど私が、その味を貰るので、いつもそこにでかけると必ず魚屋が私の好みに応じた魚を用意してくれる。島の人情もよい。

京都と淡路を往来していると、どうしても足を留めたくなるのは神戸だ。私の教え子である女性は、靴とかハンドバッグ、それに洋服などを買うときはきっと神戸でかけるといつてた。聞くところによると、そのような女性が多いそうだ。私のところでも靴とかハンドバッグなど神戸が一ぱんよいといつてた。セシスがあるのである。神戸という東は横浜を思い出すが、この横浜と神戸は月とスッポンほどの違いがある。もちろん、神戸が月だ。同じ外国に向って開いた港であるのに、どうしてこうも違うのだろうか。それに神戸の人は明るくてよい。私など、京都にこれほど根をおろさなかつたら、神戸に引越しをしてよいと思ったことが度々あった。

また食物のことになるが、神戸は食物の美味いところだ。肉でも魚でも材料がよい。京都など、どんなに頑張つてみたところで神戸の材料にはとても及ばぬ。そんなことを考へてみると、「晩年は神戸に引っ越すかな」などと家内と話し合つたりすることがある。淡路島にもたびたび行けることであろうし、ちょっとといいな。

△歴史学者▽



<筆者>

□朝日新聞神戸版人気シリーズ「神戸の一〇〇人」を終えて

神戸の一〇〇人

うらおもて

重森

守

(前朝日新聞神戸支局長)

ぶるるおぐ

朝日新聞の神戸版に連載されていた「神戸の一〇〇人」なるシリーズが、やつと十一月で終ります。やつと、というのが、文字通り実感なのです。つくつてある側からすれば、それは大事業だったわけです。はじめは、軽い気持で取つかかった、というのに……。

人選が通俗的だ。朝日なら朝日らしく、もつと無名の、コツコツと社会のために働いている人物を堀出せ。記者の質問も安っぽい。週刊誌的すぎる……」てな工合で、ボロカスです。ところが、この投書の主、実によく「一〇〇人シリーズ」を読んでいるんですねえ。私はニンマリしました。

人選は、まさに通俗的です。平均的有名人の羅列であります。質問内容もご指摘の通りです。つまり、そういうものをはじめからつくるつもりだつたのですがな。

人選——神戸支局の記者二十人が、それぞれ十人ずつ推薦する。別に「神戸っ子」編集者など十人の神戸通「もの知り」からも、リストを出してもらう。こうして集めた各分野の人材を推薦者の順に決めてゆく。で、春先には百人のうち九

九月なかば、私の手元に無記名の投書が来ました。「神戸の一〇〇人てのは不愉快である。まず、

その一

九月なかば、私の手元に無記名の投書が来ました。「神戸の一〇〇人てのは不愉快である。まず、

してもオモシロク書けそうにない人物は割愛しました。

はじめは、よかつたのです。「朝日らしくない」でつかい顔写真。中身もくだけて、出てくる人物

も千変万化。いい意味でも悪い意味でもパアッと評判になりました。

だが、終りに近づくにつれて困ったことが生じました。自薦他薦が押寄せってきたのです。当然自分は百人の中にはいると思いこんでいる人が意外に多く、とくに日ごろ私と個人的な交際のある人は……です。なかには聞きもしないのに「二十日までは神戸におけるが、月末は旅行だよ」などとお知らせをいただく人もいます。早く取材に来いというわけでしようか。

おしまいには、わが本社の編集局長とか元重役のOBを通じての“売り込み”もありました。もちろん、神戸支局ではじめに独自に決めたもの以外には、一人も割りこみを許しませんでした。だつて、それでは読者が承知しませんよね。

ある文化人の集るスタンドではこんな流行語ができたそうです。
「朝日が取材に来よったけど、オレは断ったんや」

念のために申し添えますが、当方が取材に行って断られたのは、元町バザー経営者の小林新二さん、部落解放同盟の福地幸造さん、それに新空港建設反対運動の主婦寺島和子さんの三人だけ。小



神戸新聞の田中寅次社長（右）をインタビューする 筆者（3月末、神戸新聞社長室で）

林さんは「愛読しますが、私は晴れがましすぎで……」あとのお一人は「運動は団体でやるもの。登場することで個人プレーと取られるのは困るから」でした。

あ、もう一人。山口組三代目親分、田岡一雄組長です。これはゼビもので絶対に出てもらおうと、掲載分のコピー持参、下部の親分衆を通じたりして、いろいろ手を尽しましたが結局ダメ。のどを痛めて声が出にくいこともあり、とうとうマスコミぎらいの壁を破れませんでした。口惜しかったですねえ。

その二

取材にそなえて、支局でカセットテープのレコードを買いました。（今までなかつたのがバーレル）こまかい会話のやりとり、地方ナマリの再現に効果的だからです。あとで「言つた」「言わぬ」のもめごとに困るからでもあります。もつとも新谷映子さん（彫刻家）のように「テレビはイヤ」と拒否した人もいます。渡部一郎さん（公明党）は録音テープに苦い経験があり、とても意識されました。

しかし、これはラジオのインタビュー一番組ではありません。要するに、わずか四百字詰め四枚たらずの原稿の中で、その人物像をいかに紹介するか、がポイントです。相手は、担当記者にとつて、半数あまりが初対面。わずか一、二時間の面談（対話）で、とてもつかみきれるものではありません。

「人間は、しょせん不条理な存在。統一された人間像などあるはずがない。だから、人を分析した

り批判したりする行為は、結局その人の虚像をみることに終るのでないか」（第五部・詩人小林武雄氏の前書きから）というわけです。

私自身の体験によると、初対面の小児科医師原口力さん（空港反対運動リーダー）を取材したとき、どうしてもこの人の本質がつかめません。一応書いたけど、核心をついた自信が持てない。結局、三回も足を運び、アレコレやさぶつたがダメ。不本意な記事になりました。

あとで原口さんに会つたら「あのときは身構えましたよ。ボロを出すまい、本心をつかまれまいと必死でした」と笑われました。そうです。つまり、取材する側と、される側。二人の血みどろの格闘なのです。このインタビューは――。

作家杜山悠さんは、担当記者に「キミなんかに、ボクが書けるわけがない」といい放ちました。同じ作家の足立巻一さんを担当した記者も、「つかめない」と首をひねりながら何回も訪問しました。市婦人団体の妹尾美智子さんは、たしか四回もインタビューしているはずです。だいたい、ものの書きは書きにくい（卒直派の田辺聖子さんは例外でした）ようですね。

その三

ふつう新聞記事は、絶対に主観を入れてはいけないことになっています。ところが、このシリーズは記者の主観まる出し、それどころか記者自身が相手をやつづけて喜んだり、軽くあしらわれて退散したり――そんな姿が露骨に出てきます。それがまた読者に人気を呼んだ理由の一つでしょ

足立さんからは「無理にやつつけようとしているのがある」と批判されました。陳舜臣さん(作家)は「ヤユ(からかい)が表面に出ているから、取材されるのはイヤだなあ」と事前に苦笑していました。田崎俊作さん(真珠会社社長)の家族は「みんなオチヨクラレティイテ面白く読んでましたけど、あれにウチのおとうさんが出るんですか」と複雑な表情だったそうです。

つまり、あのシリーズには、一種のザレ歌、川柳みたいな精神が、多少はあったのかもしれません。でも、書かれる側の反応は、さまざま。大別すると、すでに確固たる基盤のある財界人は何をかかれても平然。逆に、いわゆる文化人は神経質。政治家は……そう右井一さんなどは後援会報に再録したりして活用していましたね。サースガ。

★朝日新聞神戸支局編

神戸の100人

11月25日発売 定価870円

書店にて発売 B6版44頁(表紙題字/望月美佐)

出版元/神戸新報社

神戸市生田区下山手通3 電話078(391)4172
取次ぎ/月刊神戸っ子編集部

神戸市葺合区八幡通5丁目96 K・Eビル
4F 078(221)7037・8072

★関西の情報月刊誌

オール関西

表紙
西山英雄

11月号(11月初旬書店にて発売) 190円

★特集 神戸を創る200人

★タウンガイド 京都・大阪・神戸

★連載対談 上松松籠
村松 寛

★好評連載ルポ

京の宿<東籬>邦光史郎

★創作 ボンボンバラセ

島 久 平

発行所 大阪市北区曾根崎上1丁目30 八千代会館 TEL(313)2635
神戸支社・TEL 221-8072 京都支社761-5284

写真も大写しの異色作で評判になりました。神戸新聞社長田中寛次さんの極度のクローズアップ。砂野仁さん(川重)のユニークな横顔。主婦作家丸川栄子さんは「砂野さんのときのようないじワルな写真は撮らないでね」と、注文したそうです。そうそう、女性は、どんな有名人でも男まさりでも、必ず髪を直したり、いつもしない化粧をしたり……ああ、やっぱり女ですねえ。

このシリーズは、まとめて一冊の本になります。十一月中には町に出る予定です。写真は丸一頁を使って、新聞のときよりさらに大きめに紹介します。ナニ、お前も出ろって?冗談じゃない。私はいつも番外地ですよ。

(朝日新聞大阪本社通信部長)

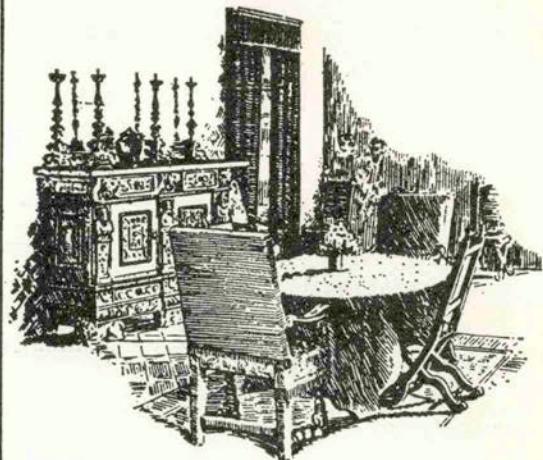
Merry
Christmas



ドイツ菓子
Fuerlein's
ユーハイム

本店 三宮 生田 神社前 TEL(331)1694
三宮店 三宮 大丸前 旧市電筋 TEL(331)2101
さんちか店 三宮地下街スイーツタウン内 TEL(391)3539
心斎橋店 大阪 心斎橋筋 大丸前 TEL(252)0925
阪急三番街店 梅田阪急三番街地下2階 TEL(372)8823

家具・室内装飾・工芸品



永田良介商店

神戸市生田区三宮町3丁目大丸前 TEL神戸(391)3737
(代表)
東京店・東急百貨店 { 日本橋店内6階 TEL 03(221)0511
(本店)渋谷 7階 TEL 03(462)3180
工場 神戸市垂水区多聞町小東山975-35
神戸木工センター TEL (078) 706-5005 (代)

神戸を知的生産の街に

秋田 博正

〈正興産業社長・神戸経済同友会代表幹事〉

小林 博司

〈小林桂株代表取締役・神戸経済同友会中国問題委員会副委員長〉

★ヨットこそわが伴侶

小林 秋田さんと私とはヨットを通じて先輩と後輩の関

係になりますね。秋田さん、といえばヨットの神様みた
いなものですから（笑）

秋田 今、私は関西ヨット協会の会長をしていますが、



秋田博正氏

前にレースの審判委員長をしていた時によく出会った。

小林 レースの終った後、秋田さんに呼ばれてよく叱られました（笑）甲南大生の頃ですよ。秋田さんはヨットではもう一番古い方でしょう？

秋田 ええ、そうですね。学生時代からヨット部にいましたから、もう三十年になりますかね。今でも時間がつくれる限り、日曜日毎にヨットに乗ってます。その代りゴルフの方がおろそかになつて、さっぱり上達しない（笑）

小林 僕の方はずばらなので月に一回ぐらいかな。

秋田 その代り小林君は飛行機の操縦もするんでしょう？

小林 この前の日曜日も高知まで友達と魚釣りに行きました（笑）高知まで一時間十五分ぐらいです。その夜はちょうど満月だったでしょ。ちょうどその頃釣りにいった帰りで、神戸の上を飛んでましてね、飛行機からみる満月というのもとてきれいでした（笑）

秋田 私は、あの日は遅くまでヨットハーバーにいましたね、マスト越しに見る月もまたよかつたですよ（笑）

小林 秋田さんの乗つてらっしゃるのはドラゴンですか

秋田 ええ、そうです。

小林 私はレース艇には乗らずにクルーザーで、中で酒飲んでます（笑）

秋田 私もこの前まではクルーザーに乗つてたんですけどまたレース艇に乗りたくなつたんです。おもしろいもので、レース艇に乗つてると今度はのんびりとクルーザーに乗りたくなり、クルーザーにしばらく乗つてるとまたレース艇に乗りたくなる（笑）

小林 私もこのごろまたレース艇に乗りたくなつた（笑）

秋田 ヨットの魅力は何といつても自然にとけこむ、ということですね。

小林 機械を使わずに風の力で走るという、一番アリミ

ティブなところですね。人間が自然にとけこむというか

秋田 あの海のおおらかさ、いいですね。また沖から眺める六甲というのが実に素晴らしい。神戸ならではですね

★ドル・ショックで打撃を受けた中小輸出業

秋田 ところで、今度のドル・ショックによる不況はかなり深刻のようですね。神戸は特に中小企業の輸出産業が多いだけに大変だと思いますね。

小林 神戸の貿易の性格として、輸出専業の中小業者というのが多いですから、そういう点では大変でしょうね。対米輸出の場合課徴金と、それに西海岸の港湾ストの影響もあります。

秋田 セっかく立ち直るうとしていた経済が、またこれでしばらくは不況ですね。しかし日本人は勤勉だから、また一、二年もしたらもともどるでしょうが。

小林 ハーマーカーンにいわせれば、一ドル三百円にしても日本人だつたら十八カ月でもともどるだろう、といふことをいつてますね。

秋田 先方が非常に待ち望んでいる、あるいは先方に真似のできない業種とか、大企業でまだ合理化が若干できる余力のあるところはいいですが、そうでないところは困るでしょう。結局、中小の輸出に頼つている業界に対する配慮が必要ですね。

小林 深刻さというものが一般の人にはピンとこないかもしれません、これは日本人というものはヨーロッパのように道一つへだてたら隣の国で、マルクやフランやボンドなどが交互に流通している国じゃないですから、外國為替の切上げというようなこともあまりピンとこないんですね。だから、ジャーナリズムが書きたてるような深いさというものが受け止めにくくし、もう一つにはジャーナリズムによっておどらされて、必要以上に恐れるという点と両方あるでしょ。業種によって不況の度合は違うでしょうが、ただ不況がくるといって恐れるのもおかしいと思いますね。日本人はこの二十六年間にこれだけのものを築き上げてきたんだから、このぐらいのショックは乗り越えていくでしょ。だから恐れること

小林 だから日本がいくら努力しても、アメリカのドル海の外流出が今までのようにつづけば、いつまでたっても改善されないでしょう。

秋田 自分の力というものをあまり過信しないようにしてもらわないとね。やはり船長と乗組員がよく協力することです。



★クローズアップされてきた 小林 博

秋田 この前の関西経済団体連合会25周年の祝賀パーティに佐藤総理がみえていたんですが、その席で総理は、

今日の日本の繁栄は世界の安定と自由貿易ができるためにあるのだから、とくり返し強調され、自由主義国家群といふものは協調してその秩序を維持しないといけない、ということをいつておられた。確かに日本のよう

に貿易依存度が高いところはそういう国際的な協調がないといけませんから、対米関係もおろそかにはできませんね。

小林 アメリカはやはり日本にとって最大のお得意さんですからね。

秋田 自由主義国家群といふのは一つの船に合乗りしているようなものだから、この船が平穡に走つてももうよううにみんなが協力するべきですね。

小林 今度のアメリカの国際収支の悪化は、アメリカを艇長とする乗組員の責任もあつたかもしれません、が、艇長の判断の誤まりというものもあるでしょう。

秋田 それは大いにありますね。

秋田 最近、中国問題があちこちでいろいろととり上げられていますが、この前も大阪の経済五団体が中國に使節団を派遣しましたね。来年の春には神戸も使節団を送る動きがあります。

小林 貿易協会では今年の秋に使節団を出すという話もありました。

秋田 これも時代の流れだし、いつまでも固定的な考え方をもつてゐるのもどうかと思いますね。やはり中国といふものの実情をしっかりと認識して、流動的に対応してゆくことが大切でしょう。

小林 関西といふのは、戦前は関東よりも伝統的に中国との商取引も多かったですから、関西が一つリーダーシップをとつて、中国問題に積極的に取りくんでいいきたいのですね。

秋田 神戸港も中国との貿易が開始されれば、一度に躍進ではないにしても、支那大陸との貿易上でのウエイトといふのは上つてくるでしょう。

小林 「中国行きのバスに乗り遅れるな」とかいわれますが、そういうことじゃなくて、流動的に時代の流れに対応しないといけませんね。

秋田 自由主義国家間だけの貿易じゃなくて、これから

はそれ以外の国々との貿易を考えていく、ということも必要になってくるでしょう。裏日本などではソ連材の輸入なんかたいした量ですよ。

経済同友会にも「中国問題委員会」があつて、中国の理解、認識に努力しているんですが、いずれ大阪あたりの働きかけもあって、共同での委員会というものができます」と思います。

★神戸を情報、知的生産の街に

秋田 関西新国際空港はぜひ神戸沖につくってほしいですね。将来の神戸を考えた場合、神戸港と新しい国際空港、それに山陽新幹線と中国縦貫道路、そういうような交通の発展ということが、これから神戸の発展のカギになってるんじゃないかという気がします。重化学工業を誘致するということはもう不可能だし、港を中心とした交通のかなめとしての役割を十分に果すことが必要なんじゃないでしょうか。これは単に物が動くということだけでなく、人が往来し、情報が入ってきますから、今後神戸がどういう方面に伸びていくかということになると、物的生産よりもむしろ知的生産というものを伸ばしていく方向と、国際化という方向が最大の道じやないかと思います。だから公害のない空港はぜひ神戸にもつてくるべきですよ。商売ということを離れて、神戸の市民とすれば空港をもつくることは決して間違つてないと思います。

小林 ところで、空港ができた場合、運用の方はどういうふうになるんでしょう。

秋田 ここは国内、国際線が半々ぐらいになるようですが年々飛行機を利用する人は増えてますから、日本に二つは国際空港が必要です。その一つはやはりかならず関西にほしい。ポートアイランド沖に空港ができることになれば、実際問題としてその工事によって地元がかなりうるおう点もあるでしょ。

小林 空港ができれば、それによって神戸におちるお金というのもバカにならないでしょうしね。

秋田 神戸というのは人間が大事にされるような自然環境に恵まれている街ですから、これはいつまでも守りつづけていくようにしないといけません。それと近代化ということをどう調和させていくか、というところが難しいですね。自然と経済と文化がバランスのとれた発展をしないいけませんが、私はやはり経済的な繁栄がないと国民の繁栄はあり得ないんじゃないかと思うんですよ。人間は霞を食べて生きていくわけにはいかないし、ハンガリーでも経済的不況がくると暴動が起るし、アメリカでも不況で治安が乱れている。繁栄と環境保全のバランスをどうするかです。反対はしやすいけども、やはり断行ということが大事なんじゃないですか。

小林 反対派の人達を納得させて、一日も早く空港が稼働する状態になってほしいのですね。

秋田 今後の経済というものは人間尊重の時代ですから、人間を軽視するようなものは極力排除し、神戸の場合は背後地もあまりないわけですから、先程も申しましたようにこれからは物をつくるということよりも、知的な生産にウェイトを置いていくということ、もう一つは国際化、というか、神戸がこれから日本の中心となるような役割を果す街にしていきたいものですね。

小林 それと、神戸の人に望みたいのは、東京や大阪に逃げないで、神戸に踏みとどまつてほしいということです。私のとこの商売でも商いからすれば東京の方が多いので、本社を東京へもつていった方が有利なんですね。が、輸入した品物で東京へ送る物でも、一度神戸へ揚げてから送るというようにしてゐるんです。

秋田 それは大事なことです。ここでひとつ全市民あげて神戸を盛りあげて、みんなで協力して神戸を発展させていこう、という気持を持つようにしましよう(笑)

経済ポケット ジャーナル



★兵庫県社会福祉協議会

会長に外余男氏就任

兵庫県の地域福祉活動を行っている兵庫県社会福祉

協議会が昭和二十六年三月に創設されて以来、二十年間会長を勤めてきた朝倉斯道氏がこのほど退任し、後任として前事務局長の関外余男氏が会長に就任した。



関 外余男氏

関氏は三十三年に社協入りをしてから事務局長として朝倉前会長の女房役を勤めてきた。以前は愛媛県経済部長、徳島県総務部長、埼玉県知事、神戸市助役なども勤めたこともあり、今度の会長就任に際して、「社会福祉、社会保障の充実を目指す『朝倉路線』を正しく発展させる」と決意のほどを述べた。



中西画伯の手による大壁画



完成した川重体育館の外観

★KOBE オフィスレディ★



上村晶子（25才）
株式会社ファミリア 企画室嘱託

高校の時からのアルバイトを含めるともう8年目、その間万博で通訳の仕事もやったといふから語学力も立派。子供に対して同族意識が働くのか大変好きだとおっしゃる素敵なお嬢さん可愛いいクマちゃんを楽しそうに書いている姿が想像できる。垂水区在住 神戸女学院大学卒

鉄骨鉄筋コンクリート造り、四階建、総面積六八三七、

した。

コンテナを一度に二千個近く積めるうえ、スピードも二十六・一五ノットモーターボート並みで、商船では世界で一番速い最新鋭コンテナ船。

三月二十日に起工され、



進水する鞍馬丸

★川崎重工業健康保険組合の体育館完成

十月六日、川崎重工業㈱

健康保険組合が兵庫区東山町三丁目二番地の川崎病院の近くに完成した。

このスマートな体育館は

「鞍馬丸」進水 日本郵船の世界最大コンテナ船「鞍馬丸」（五一、三〇〇トン）が、このほど

三菱重工神戸造船所で進水した。

同船は来年三月に完工、先に進水した同型の「鎌倉丸」などとともに豪州航路に就航する。

ほか、一階には会議室や喫茶室、二階には舞台設備や放送設備があり、四階は観覧席となっている。

この他に、正面入口を入れると、画家中西勝氏による力作「愛と力」が、そしてその側には清水多嘉示さんによるブロンズ裸婦像「輝き」が置かれ、この体育馆の重みを増している。

四十三年に同造船所で造った日本最初のコンテナ船「箱根丸」（一六、一四〇ト）は七百五十二個のコンテナしか積めなかつたが、わずか三年の間に三倍近く積めようになつたわけだ。

船価約七十三億円。全長二百六十一尺、幅三十二・二尺、深さ二十四尺と、神戸商工貿易センタービルを二つ並べて倒してもまだある巨大船。

★技術ジャーナル(55)

新脫硫技術

諸岡博熊

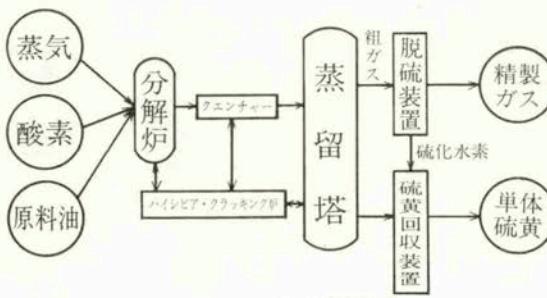
大阪神外實埠頭公團工務部長

うな原油を分解する技術を通称“重質油のガス化脱硫プロセス”という。すなわち、カフジ残渣油をガス化して硫化水素の形で硫黄を取り除き、オレフィン分の高いかつ、発熱量の大きい燃料ガスを得ようとする研究開発で、目下、工業化試験の段階にあるといわれる。工業化が実現すると、LNG（液化天然ガス）などの無公害燃料を大量生産できるようになるといわれるのである。したがって、これはナ都市ガス製造に当り、LNG供給の不安定性を補うために、合成ガスとして応用もされようといふのである。フサに代る——石油化学原料を原油に求めようとする新しい分解技術といえよう。

原油分解工程で、特殊な熱分解炉を使って原油を熱分解し、エチ

の熱分解炉をそのまま利用し、酸素、蒸気、原料重質油をともに分解炉に供給し、クエンチャー、蒸溜塔を通じて、重質油を酸素で部分酸化し、精製ガスを得ようとす

ガス化脱硫概念図



よりとほとんど百分比可能となる。このような、カフジ残渣油のガス化技術にさらに、石油精製で過剰となつてゐる残渣油——これは主としてアスファルトの原料用であるが、いわゆる真空残渣油と称せられるもので、これの有効利用も図られる便があり、また、石油系の無公害燃料が入手できるといふ利点をあわせもつ。



男の格調が映える
秋

O-SHIBATA

柴田音吉洋服店

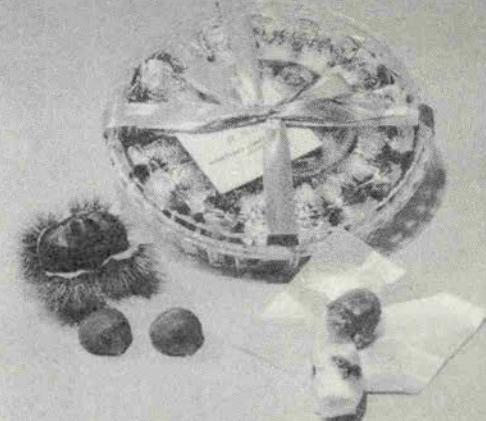
神戸・元町4丁目南 神戸341-0693
大阪・高麗橋2丁目 大阪231-2106

|
39
|

神戸にそだつたフランスの銘菓

マロングラッセ

MARRONS GLACES



プラケース入 ¥ 3000, 2000, 1500, 1000
化粧箱入 ¥ 5000, 3000, 1500, 1200, 600

神戸にそだつて70年

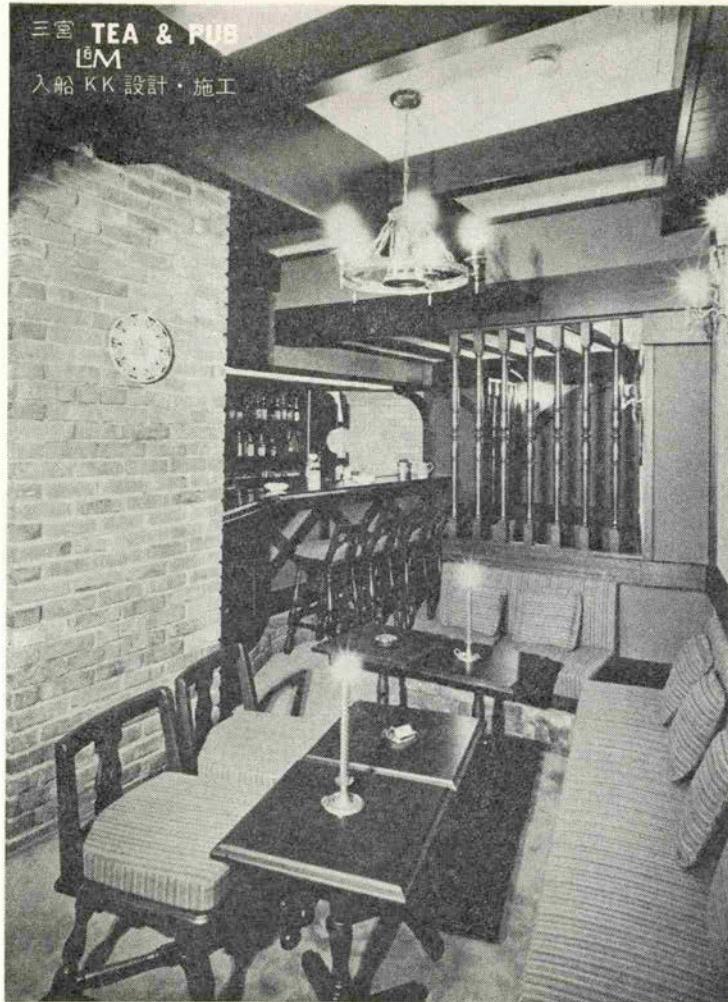
 風月堂

元町3丁目 TEL391-2412~5
さんちかスイーツタウンTEL391-3455

三宮 TEA & PUB

LM

入船 KK 設計・施工



まいしょっぷ

喧噪と静寂

緊張と弛緩

古レンガと松林が織なす

ラスティカルな空間を

壁の赤いベルベットが

ワインと人間の対話を

見守ってくれる

企画・設計・施工のオールマイティ

入船株式会社

神戸市灘区友田町 5-2-2

TEL (078)851-3191



くらしのプラン〈1〉

この冬 セントラルヒーティング で過ごしたい方へ

暖かい冬を過すために、石油、ガストーブの時代から、最近はセントラルヒーティング・エイジへと、暖房設備の移行がみられ、その「新しい技術、新しいアイデア」へ急速に関心が高まってきた。

そこで今月は、関西でもセントラルヒーティングの設計施工に信用ある協和ガス住宅設備機器㈱の岡本日登志社長さんに、どうすればそのプランニングがたてられるかをおききしました。

「まず、設計施工を頼む前に基本的な方針を決めるこ⁽¹⁾と(1)暖房のみか、冷房併用か (2)暖房および冷房方式のどれにするか (3)エネルギー源に何を使うか (4)どの部屋の暖(冷)房をするか (5)放熱器や吹出口をどこへ (6)給湯はどこへ (7)設計施工とアフターサービスへの配慮 (8)操作はどんなものがよいか (9)燃料の購入方法(オイルの場合のみ)は (10)月間の維持費は? これらのこととは建築の平面プランで決めておかないと、気に入らぬからとテレビや、自動車みたいにかえるわけにいかないので、ご用心。だからその設計、施工を依頼する時に慎重に、経験と信用ある業者に依頼されることが肝心です。

依頼方法には (1)建築会社にセントラルヒーティングまで含めてトータルにやる (2)信用あるメーカーまたはガス会社の特約店に申込む (3)施主が直接知り合いの設備業者に頼むという3つの方法があり、それぞれ特色があります。とくに依頼する時のチェックポイントは
①設備費用が予算内でゆけるか ②エネルギー源に何を



北御影アーバンライフ

使うか ③燃料の補給は安心できるか ④ボイラー位置、放熱器、吹出し口などの位置の確認 ⑤建築上の保温処置は? ⑥アフターサービスは? ⑦配管材料は? ⑧音についてはどうかなどです。

初めての方は知識が少ないため自分のイメージとちがってトラブルが起きることが多いので家族の意見も充分に調整しておくことも大事です」

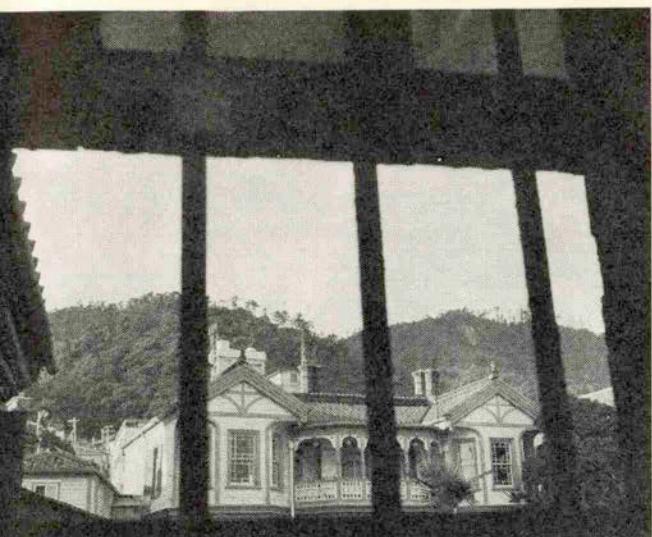
さて、岡本さんの協和住宅設備機器は、芦屋のサンヒルや、芦屋、御影、本山などのアーバンライフなどのセントラルヒーティングを手がけたベテラン会社。気軽にご相談ください。(連絡は神戸市東灘区住吉東町4ノ7ノ16) 協和ガス住宅設備機器(株) 電851-9321 大阪市北区梅田町46 大阪営業所 電345-8560)

●プレゼントコーナー

住いの設計「セントラルヒーティング」実業之日本社編(550円)を10名様に差し上げます。セントラルヒーティングのすべてが集約されたガイドブックです。ご入用の方は下記へお申込み下さい。(〆切は11月末日)

★神戸っ子編集部 神戸市兵庫区八幡通5丁目96K・Eビル4F TEL221-7037・8072





神戸のアーバンデザイン コンザーベーション（保存）

56

水谷頼介+チーム・UR

★「コンザーベーション」ということばが、街づくりの手法に関連してよく使われるようになってきました。英語でconservation、直訳すると、「保存」ということです。

古い建物や街を、不要になったからといって、また、使いにくくなったからといってぶっこわしてしまうのではなく、再生して保存していく、という主旨です。

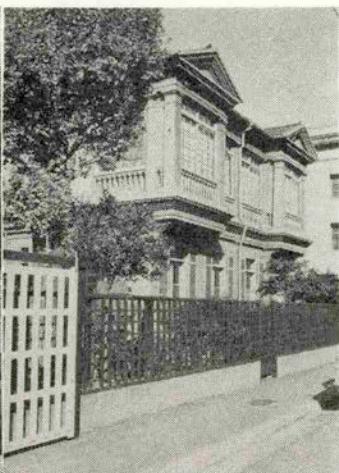
積み重ねられてきた都市の歴史がもつ魅力、また、その都市活動や、街を舞台にしての市民の活動のドラマが、古い建物、街にはしみついているわけです。街の過去を現在に生かし、その街の個性的な発展をふるいおこさせる基礎として位置づけ、またそれが他の都市からその街を訪れる人々にとっても大きな魅力になるわけです。「時間」という価値を大切にして、「蓄積」—ストックを有効に存続させていく方法です。

何でも新しいものはよくて、古いものは駄目だという考え方とは全く逆の方向づけです

パリのマレー地区、イギリスのヨーク、バース、チェスターといったローマ時代の城下町、日本では、倉敷や高山、そして、中仙道の妻籠などがその計画的代表例だとされています。

ところで明治以後の神戸の街でその「コンザーベーション」を考えるとしたら対象は何でしょうか。まず居留地と異人館があります。ビジネスセンターのなかに文化的広場とでもいったかたちで居留地の異人館をとりこみ、また、北野町の異人館の街なみを山手の散歩道にくみこむことを考えたいものです。そのほか兵庫の古い港町の雰囲気や有馬道などの旧街道なども……。

〈水谷頼介〉



街の中の異人館としての保存が何よりも望まれる北野町・旧居留地



神戸のモダーンリビング
異人館の仕事場

水谷頼介+チーム・UR

56

西洋人は環境に対する適合力が少ない人種でしょうか。明治の文明開花により、多くの西洋人が神戸に住んでいました。そして日本の風土と関係なく自分たちの様式を持って住宅や事務所を建て日本人の生活とは関係なく自分たちだけの生活を続けたようです。一方日本人も文明すなわち西洋と考え、西洋の技術と様式を取り入れることを積極的に行なって一日でも早く西洋文明と近代文化に追いつこうとする西洋に対するあこがれと劣等感がミックスして、洋館とその人々の生活を眺めていたのではないかでしょうか。その現われが和風住宅に洋風の応接室を作ることにより、何かより文化的な、近代的な雰囲気を感じる自己満足に落ちていたのではないかでしょうか。

古い日本の木造住宅は少なくとも100年200年の生命力を持っていますが、これは高湿多雨の気候と台風や地震に対する考えが構造や建物の細部の納りに考えられ、風通しのよい平面と高い床に表われています。それを無視した建物はまだ100年もたたないのに建物が朽ち、漆喰が落ちむざんな姿になって行くのです。現在ある異人館がこのような姿になっているのは建物の管理の状態もありますが当然の現象かもしれません。かつて異人館が、出来た頃は建物のテラスに座ると庭を通して神戸の街並と港、それに海岸通りに建つ自分たちの事務所が眺められ、都市住宅の立地条件としては絶好の場所であったでしょう。今ではホテルやマンションが建ちならび、眺望ができなくなったのが朽ちた建物とともに淋しさをおぼえます。

〈武田則明〉



天井が高いのでスタジオに最適
(黒人館を使ったグランピーのオフィス)



正面入口より



部屋の雰囲気にピッタリの収集した骨董品